

第86期中間報告書

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)

株式会社 **チノ**

証券コード：6850

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より当社グループに対する格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

ここに第86期（2022年3月期）上半期における事業の概況についてご報告いたします。

今年度上半期の日本経済は、企業活動や経済活動が緩やかに持ち直し明るい材料もみられましたが、新型コロナウイルス新規感染者が再び増加に転じ緊急事態宣言が続いたことにより、景気の回復は総じて弱いものに留まりました。

足元では世界的な半導体供給不足や原材料費の高騰等、先行きの不透明感は依然として継続していますが、脱炭素に関わる研究開発やIoT化を目指す操業現場の設備投資が見込まれ、当社グループが特に注力する水素関連においても、様々なニーズの顕在化が予想されます。

こうした事業環境の中、当社グループは、「脱炭素社会」と「安全・安心な社会」の実現に貢献することを大きな目標としながら、顧客に密着した課題解決に取り組むことにより、さらなる業績拡大に努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長執行役員
豊田 三喜男

◆企業理念と2026年に向けた経営ビジョン

企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

創立90周年（2026年）に向けた経営ビジョン



共創

環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

特長

卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

信頼

信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます

当上半期の業績について

当上半期の世界経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種の普及に伴い経済活動が再開されましたが、足元では感染再拡大の懸念、半導体部品の供給不足や原材料価格の高騰などにより、先行きの不透明感は依然として継続しています。

このような状況の中、当社グループは、生産現場で不可欠な温度計測・監視を実現するセンサや製品はもとより、需要回復の見られた産業分野における課題を解決するソリューションの提供に注力しました。また、脱炭素社会に向けて、国内外でエネルギー分野における投資の動きが活発化する中、水素関連分野の需要の高まりを積極的に取り込むべく、水素の生成、輸送・保管およびエネルギー利用における温度管理等に関係する受注活動を強化してまいりました。

当上期の連結業績は、主要顧客である自動車関連や電子部品関連向けにおいて半導体部品の供給不足による影響はあるものの、全体としては、生産活動・設備投資の回復基調が維持され、受注高11,712百万円（前年同期比13.0%増）、売上高9,711百万円（同4.3%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益387百万円（前年同期比290.3%増）、経常利益522百万円（同224.9%増）、四半期純利益（親会社株主に帰属）249百万円（同53.4%減）となりました。

当社グループは、脱炭素社会実現や企業のDXに向けての取り組みが世界的に加速する中、常に変化する事業環境にある顧客の課題やニーズを把握し、引き続き全社一丸となって顧客価値の創造と提供に取り組んでまいります。

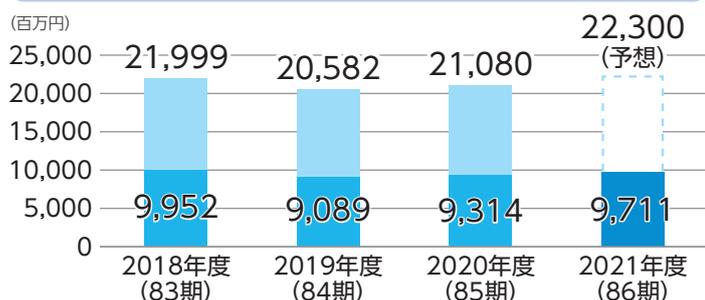
連結財務ハイライト

◆連結財務データ

■通期 ■上半期

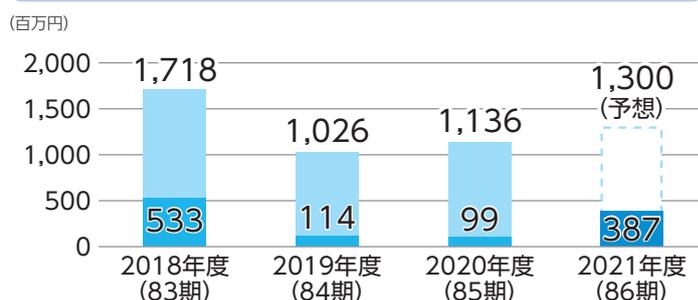
売上高

9,711百万円（前年同期比 4.3%増）



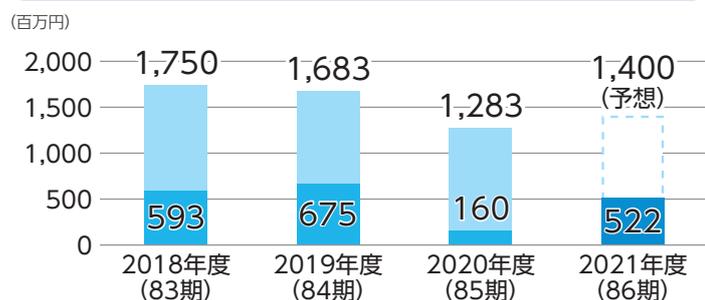
営業利益

387百万円（前年同期比 290.3%増）



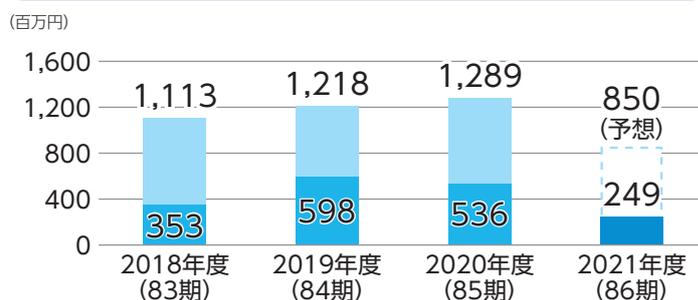
経常利益

522百万円（前年同期比 224.9%増）



四半期純利益（親会社株主に帰属）

249百万円（前年同期比 53.4%減）



◆セグメント別の業績

① 計測制御機器

売上高 **3,725**百万円（前年同期比 15.8% 増）

セグメント利益 **411**百万円（前年同期比 10.0% 増）

③ センサ

売上高 **3,107**百万円（前年同期比 1.3% 増）

セグメント利益 **572**百万円（前年同期比 45.6% 増）

② 計装システム

売上高 **2,499**百万円（前年同期比 5.0% 減）

セグメント利益 **149**百万円（前年同期比 481.3% 増）

④ その他（修理・サービス等）

売上高 **377**百万円（前年同期比 5.0% 減）

セグメント利益 **62**百万円（前年同期比 33.7% 減）

連結財務情報

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2021年 3月末	2021年 9月末
流動資産	20,299	20,059
現預金	6,991	7,504
売上債権	7,548	6,194
棚卸資産	5,526	6,083
その他	231	276
固定資産	10,099	10,047
有形固定資産	5,578	5,612
無形固定資産	398	411
投資その他の資産	4,122	4,022
資産合計	30,398	30,106

科目	2021年 3月末	2021年 9月末
流動負債	7,274	7,165
仕入債務	3,611	3,706
短期借入金	1,594	1,595
その他	2,069	1,863
固定負債	3,621	3,324
長期借入金	995	807
その他	2,626	2,516
純資産	19,502	19,617
株主資本	16,398	16,261
その他の包括利益累計額	240	412
非支配株主持分	2,863	2,943
負債純資産合計	30,398	30,106

◆連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2020年度 上半期	2021年度 上半期
売上高	9,314	9,711
売上総利益	2,625	3,057
営業利益	99	387
経常利益	160	522
四半期純利益 (親会社株主に帰属)	536	249

◆連結CF計算書

(単位：百万円)

科目	2020年度 上半期	2021年度 上半期
営業CF	945	1,219
投資CF	261	▲ 118
財務CF	▲ 767	▲ 611

トピックス

株主優待制度(チノー・プレミアム優待倶楽部)を新規導入いたします

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を一層向上させ、中長期的に保有していただける株主様の増加を目的として株主優待制度の導入を決定しました。また株主様の名簿管理についてDX化を進めることで株主様との対話強化に努めてまいります。

【制度の概要】

- ・ 2022年3月末現在（以降、毎年3月末現在）の3単元（300株）以上保有の株主様が対象となります。
- ・ 株主様の保有株式数に応じて優待ポイントが贈呈され、ウェブサイト「チノー・プレミアム優待倶楽部」において、食品、電化製品等4,000種類以上の商品から交換できます。

東証新市場区分の選択方針について

当社は、2021年9月9日の取締役会において、市場区分の見直しに関しプライム市場を選択する方針を決議致しました。プライム市場の上場維持基準（「流通株式時価総額」及び「売買代金」）充足に向けた具体的な取組みにつきましては、2021年12月30日までに株式会社東京証券取引所への提出および開示を予定している「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を通じてお知らせする予定であります。

新製品情報

リアルタイム無線ロガーMZシリーズを発売しました

2021年7月28日に、医薬品の適正流通（GDP）ガイドライン及びHACCPによる温度管理需要の増加を受け、IoT機能を強化したリアルタイム無線ロガーMZシリーズを発売しました。

特長

- ・ データ欠損防止機能に配慮した各種機能
- ・ 柔軟な無線通信システム
- ・ リアルタイムな警報監視と一括管理
- ・ パソコンレスでの運用が可能

導入例

- ・ 医薬品物流、食品輸送時の温度監視
- ・ 工場ライン、倉庫等の温度監視



